

社員一人ひとりが
スケーラブルな
人間になることが
会社の成長に
繋がる。

ハードウェア部門では世界ナンバーワンのヒューレット・パッカード社を母体とした外資系の会社、日本ヒューレット・パッカード株式会社。その代表取締役社長兼CEOに、昨年45歳で就任した樋口泰行社長が、9月4日にコラボしが21のオープン記念で「ボーダレス時代——我々の挑戦」というタイトルで特別講演。会社が成長するためには何が必要か、また、地方から躍進する企業として何が大きかを語っていただきました。



日本ヒューレット・パッカード
代表取締役社長兼CEO

樋 口 泰 行
ひ ぐち やす ゆき

●プロフィール／神戸市出身。大阪大学工学部電子工学科卒業後、松下電器産業入社。エンジニアとして溶接用電源、パーソナルコンピュータなどの電子電気回路の設計・開発に従事。米国ハーバード大学経営大学院修士課程(MBA)終了後、ボストンコンサルティンググループにて経営コンサルタントとして戦略立案及び実行支援を行う。その後、アップルコンピュータにて営業、マーケティングを経験し、合併前のコンパックコンピュータ(株)に入社。取締役社長付として米国駐在を経験し、2002年日本HPの執行役員、インダストリースタンドサーバ統括本部長就任、2003年日本ヒューレット・パッカード代表取締役社長兼CEOに就任。

日本ヒューレット・パッカード

売上高3700億、社員数5700名。パソコン、プリンタ、企業向けのITのインフラ、サービス事業と4分野でビジネスを展開。母体であるヒューレット・パッカード社は売上高約8兆円、従業員14万5千人。米国タイム社のビジネス雑誌「フォーチュン」の有名企業500リスト中11位の事業規模。

●コラボしが21のオープン記念特別講演風景。講演では小学生のときは新聞配達をしながら家計を支えていたという意外な生い立ちも語る壇上社長。



日頃の売り上げ、利益を追求するよりも、高いビジョンを持っていることが大事。

我が社の母体であるヒューレット・パッカード社は、最初はベンチャーとして、ヒューレット氏とパッカード氏という二人が資本金540ドルでガレージから始め1939年に会社を創業しました。音声発信器というものを開発し、それがウォルト・ディズニーに8台採用され、映画の『ファンタジア』の製作に革新的な影響を与えたというのが、ビジネスが伸びるきっかけになったと言われています。その後、スタンフォード大学を軸に優秀なエンジニアがしっかりと技術力で一つひとつ開発し、それが世の中の流れに乗っていったわけですが、会社が大きくなった要因には、そこにしっかりと経営理念があったからです。トップの考え方によって会社が一つの方向にベクトルを合わせて進むと言うことが大事なんです。会社の規模が、20人30人の小さな規模の会社でしたら、トップの人の考え方は自然と広がって行くと思いますが、会社が大きくなってくるとその考え方が社員にしみ通り難しくなります。トップにいる人は自分がどんな考え方でやるんだということを、自分の頭の中の整理が出来てないようでは組織をまとめられません。そういう意味で、やはり、日頃の売り上げ、利益を追求するよりも、高いビジョンを持っていることが大事だと思います。

我が社の経営理念「HPウェイ」は「社員一人ひとりを非常に大事にする」という極めて日本的な考え方だと思いますが、この経営理念が創業以来、企業文化としてずっと継承されています。目先の利益を求めたり、人は使うものだという考え方は駄目で、人が育たないとビジネスは拡大していかないもんだなということを、私自身社長になって短い期間ですけれど

も身に染みて感じています。

地道に一所懸命にやった一所懸命さとその時間のかけ算で人の成果は決まる。

コンピュータが拡張していけるシステムをスケラブルなシステムと言っていますが、社内でも常に「スケラブルな人間になれ」と言っています。やはり、一人ひとりの社員がスケラブルにならないと会社は成長できません。要するに、今、ここに5人の部下を抱えた一人のマネージャーがいるとします。このマネージャーは20人、50人の部下をマネージできるほどの器になるには、その人一人ひとりが成長して、尊敬されて、幅広い範囲で仕事を見れたというスケラブルな形に成長していかないと、部下の数も増えていかないということなんです。“部下の数が増える”そういうキャパシティの大きな人間が増えれば増えるほど、組織も大きくできるしビジネスもふくらませられるということなんです。情報化社会といってもビジネスの肝はやはり人とのつながりの中でないとなかなか出てきません。人をつなげるということが会社として利益につながることになるんだと私は確信しています。

実は、私は社長に絶対なりたいたいと思ってやってきたわけではなくて、与えられた仕事を地道にやってきたことが現在につながっているんだと思っています。その中で自分が身に着けたことをし、またそれより広いことをやろう、会社のために貢献して、社員が働きやすい職場を作ろうという思いでやってきました。例をあげると、私は留学先で英語の勉強に苦しみました。その経験からいうと、英語のヒアリングというのはBGMみたいにただ流して聞いているだけでは身につかない。一所懸命に聴いた一所懸命さと聴いた時

間でほしいヒアリング能力は決まると思っています。仕事も同じで、地道に一所懸命にやった一所懸命さとその時間のかけ算だと思っています。こんなことをやって何になるのかなという時代もあるか知れませんが、何事にも地道に一所懸命やっていると何かが身につくんじゃないかなということも今でも自分で自分に言い聞かせています。

滋賀の豊かな地の利と情報化社会のメリットを生かしながら、自分のスコープを広げていくことが地方からの躍進につながる。

滋賀県は琵琶湖という素晴らしい資源があり、人口増加率、学生増加率が全国で一番。県民所得も全国で3位、4位という非常に高いレベルで、知的労働者が非常に多い状況。そしてパソコンの普及率が全国で一番高いという、知れば知るほど素晴らしい場所であり、大きな可能性を秘めた県なので、そこをうまく刺激にする、あるいは仕組みを作るということで、大きく成長する県になるのではないかと考えています。ただ、一つ言わせていただければ、非常に住みやすいところなんですけれども、逆に言うと異文化とのぶつかり合いが少ないかもしれない。新しいアイデアは異質なものとぶつかり合いによって生まれてきます。あるいは現場やビジネスの渦に飛び込んで行くことによって本当に理解できるということも多くあります。ある種広がってみたいと自分のスコープが狭かったことに気付かない。これは待ってはだめです。自分で工夫しないといけません。その上で、本当に豊かな地の利と情報化社会のメリットを生かしながら、発展していくというのが地方から、滋賀から躍進する姿ではないでしょうか。

※「HPウェイ」/「人間は男女を問わず良い仕事、創造的な仕事をやりたいと願っている。それにふさわしい環境に置けば誰でもそうする」という信念に基づいた方針であり行動規範。

プラザ事業紹介

新しい仕事と元気な地域を創るコミュニティビジネスを支援します。

「平成16年度コミュニティビジネス支援モデル事業」 支援5団体決まる！

地域社会への貢献などの生きがいを重視した新しい働き方、そして、地域課題の解決や地域資源などを活用する新しい起業スタイルとして、『コミュニティビジネス』が注目されています。

当産業支援プラザでは、先導的なコミュニティビジネスの立上げを多様な支援策で応援しています。

今年度は20団体から応募があり、審査の結果、支援団体を決定しました。

北比良グループ

北比良の豊かな自然をいかした農作業や農産加工の体験。地元野菜などを使った軽食を提供し、人の交流と地域の活性化を図る。



安曇川流域、森と家づくりの会

安曇川流域の山の木を活かし、木を切る現場から目に見える家づくりを行う。地域の山の管理や森林づくりに関する環境教育など、より良い地域作りに貢献する。



里山パン工房

地元産米を利用した田舎風の昔懐かしくおいしい米パンを製造する。また、地元産野菜や農園で栽培された果物を利用したパンなども提供する。



有限会社ほのぼの館

地域学生と地場産業の協働による情報発信基地。伝統的な工芸品や県内在住の工芸作家作品、地域学生の作品等を展示・販売し、地元住民の交流の場としても利用する。



マイママ・セラピー

わが町の保健室として子どもの心を受け止めるための、お母さんへのメンタルヘルスサポート。また、女性のトータルケアに関わる育児相談や保健指導を行なう。



●詳しい内容は、ホームページをご覧ください。http://www.shigaplaza.or.jp/event/2004_07_28/index.html



コミュニティビジネスについてのご相談は

財団法人 滋賀県産業支援プラザ コミュニティビジネス推進担当

[福西、笹井] までお問い合わせください。

TEL : 077-511-1413

uchicochi 連載企画

滋賀県元気企業紹介

創業や研究開発・事業化を通じて、新製品・新サービス等を生み出そうとする「創造的事業活動」に取り組む創造法認定企業3社を紹介します。

●詳しい内容をプラザホームページで紹介しています。
URL : <http://www.shigaplaza.or.jp/uchide/main.htm>



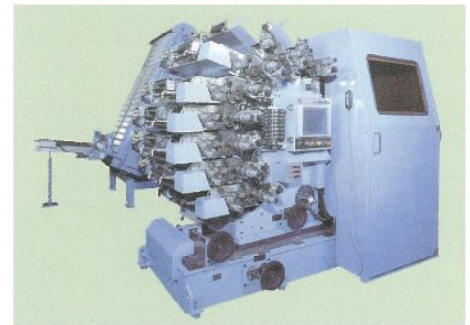
湖北精工株式会社/代表取締役社長

小川彰三さん

- 本社/長浜市東上坂町351-2
- TEL.0749-63-5212 FAX.0749-63-5216
- 業務内容/カップ・チューブ・ボトルキャップの印刷機やラベラー、各種容器類の形成機、各種省力化機械、自動化機械等の設計・製作
- URL : <http://www.kohokuseiko.co.jp/>

卓越した製造技術が「オンリーワン」の機械をつくる。

1942年、東洋レーヨン株式会社、織機の部品などの加工を手かける協力工場として発足。戦後、独立し、1960年代には設計から組み立て、設置まで行う「ものづくり」の企業へと進む。他社が手がけない、時間もコストもかかる機械の開発に注目。主に、電子部品、自動車部品、デジタル家電、食品包装など、幅広い分野で活躍する省力化機械や自動化機械、製造装置を、一品ずつオーダーメイドで製作する。また、それまで欧州製しかなかった、カップ麺などの容器に印刷する印刷機を自社ブランドで製作。きめ細かに対応する姿勢が受注を拡大し、国内シェア100%の実績を誇る。機械を作る事は機械を作る能力を持った人間を養成する事と考え、熟練した技術者の育成にも力を注いでいる。



最新の8色高速カップ印刷機



滋賀建機株式会社/代表取締役社長

蔭山明夫さん

- 本社/愛知郡秦荘町北八木92
- TEL.0749-37-3281 FAX.0749-37-2232
- 業務内容/建設機械のレンタル・販売、ハウス備品、足場、特殊機械、鉄板のレンタル業務
- URL : <http://www.sk-grp.co.jp/>

顧客満足の追求から次々と事業を展開、環境分野・一般ニーズの掘り起こしに生き残りかける。

1971年に会社設立。当初は建設機械の販売をメインとしていたが、「手持ちの機械では間に合わないから、貸してもらえないか」という顧客の声で、建設機械のレンタルを始める。その後も要望に応える形で仮設ハウスや事務所の備品を貸し出すハウス備品レンタルセンター、建設用の足場レンタルセンターなどを開設。また基礎工事を手がける滋賀基礎工事(株)を設立し、琵琶湖総合開発での湖岸工事などを受注して業績を伸ばしてきた。時代のニーズが開発から環境へとシフトしてきた現在は太陽光発電システムの販売、土壌改良、環境浄化システムの開発など環境部門でも研究を進めている。また本業のレンタル部門でも、一般向けニーズを掘り起こし、店舗展開を目指している。



実験的に行われた、汚泥処理システム工事(ハヶ岳連峰)



たかおく株式会社/代表取締役社長

高奥成人さん

- 本社/大津市浜町1-6
- TEL.077-525-9111 FAX.077-510-1230
- 業務内容/フロアメンテナンスサービス・システムの開発と運用、再生原料の掃除用具・マットの開発製造、産業物コントロール戦略のコンサルティング
- URL : <http://www.takaoku.co.jp/index.html>

フロアの「きれい」と「清潔」を追求した環境負荷をかけない高水準の技術開発力。

1980年に床清掃商品の販売会社を設立。'86年にビルメンテナンスに進出し、高水準の技術力による大手リージョナルチェーンの受注を機に経営は軌道に。一方、再生原料を利用した業務用マットやモップ等の開発を手掛け、徹底したコスト削減のものづくりで大手外食産業各社が採用。一貫した「きれい」と「清潔」を追求するFPECブランドを創設し、サービス業から製造業まで幅広い業種で安定した企業体系を構築。床清掃のシステムで2000年にはISO9001、2001年にはISO14001を取得。ここ数年は利益が1億円超と成長。社会貢献型企業として、今後、環境負荷をかけないメンテナンスの全国展開とFPECブランドの拡大に向け邁進している。



FPECブランド(Faction機能—Performance出来映え×Environment環境×Cost低価格)で洗剤を使わないマット洗浄を実現



高島町のキャッチフレーズ“ガリバーチャレンジタウン高島町”にあるように、若手店主たちは歴史的景観保全に立ち上がり、築250年の商家を改修し平成10年「びれっじ2号館」をオープン。メンバー自ら交代で店を切り盛りしながら、情熱とアイデアで生み出した経営のマニフェストをレポートします。

マニフェスト●その1

SHOP ☺ ええもん



手製のスタンドグラスが随所に。

文化と歴史が交錯する町家で 故郷のもてなしと寛ぎを演出

江戸時代、高島町は大溝藩の城下町として賑わっていました。そんな歴史や文化を語る町並みを保存しようと、商工会青年部の有志たちが立ち上がりました。9年前、18世紀後半の町内最古の商家を再生するため、本業後の夜や週末ごとに手を入れ、2年がかりで「びれっじ2号館」の完成にこぎ着けたのです。観光客が気楽に寄れる場をと「味工房あふみ」を直

営し、あふみうどん・そば各700円、平日の日替わり780円などを提供。黒光りした柱や吹き抜けの高い天井をそのまま生かし、時の経つのを忘れる寛ぎの空間です。田舎に帰ったようなほっこりできる温かいもてなしと故郷の味が堪能できます。商家は、かつての賑わいを取り戻し、古民芸ギャラリー「太陽」や染色工房「いふう」など、高島町観光のスポットとして新しい風を吹かせています。

マニフェスト●その2

SHOP ☺ ええこと

ガリバー精神で歴史的景観を 情報発信基地として蘇らせた

近江商人発祥の地の一つでもある高島町には、往時の繁栄を偲ばせる商家の佇まいが残っています。住民主導のまちづくりの息吹は20年前、商工会が立ち上げた地域研究会に遡ります。「町を自分たちの手で良くしよう」とやがて、若い世代



ガリバー由縁のアイルランド風「シャムロック・カフェ(1号館)」。

を巻き込んで歴史的景観保全を活性化の起爆剤にする“びれっじ構想”へと結実。平成8年、築150年の油屋商家を、びれっじ1号館「高島アイルランド交流館」として再生。まさに、手弁当で手作りのまちづくりが地域に広がり、商家や空家を利用した3号館、4号館が次々と誕生。3号館はスタンドグラスのランプシェードを展示する「ギャラリー蔵」として、4号館は世界のキャンドルを収集した「キャンドル工房」として生まれ変わりました。情報発信基地としての機能を果たしつつ、お互いに健全な競争ができるようにと、各々が独立採算制で運営されています。

SHOP ☺ ええかお



ハンカチの墨流し染色体験。

キャンドル作り体験。

墨流し染色やステンドグラスetc. 手作り体験で感動を与えたい

「世界でたった一つの作品を創るのは、大人でも嬉しいものでみんな“いい顔”して帰らします」と、ハンカチの墨流し染色を手ほどきする中條弘之さん(染色体験900円〜)。本業は伝統工芸士の中條さんは妻の祐子さんの生家が高島町にある縁で、びれっじ2号館で染色工房「いふう」を主宰。創作活動や染色教室の合間に、高島町を訪れる人に染色の楽しさを伝えようと、まちづくりに関わるようになりました。「僕は東京出身で、琵琶湖や山々の自然環境に惹かれて住み始めたんですが、10年近くまちづくりの醍醐味を味わせてもらって、ここは私の大切な第2の故郷になりました」。また、3号館のステンドグラス体験や4号館の手作りキャンドルなどアート体験メニューは充実。あなたも、町並み散策の折に、アーティスト気分を味わってみませんか？



「ギャラリー太陽」で掘り出し物が!?。



「あふみ膳」季節刺身・天そば特製いなり他デザート珈琲付で1800円(要予約)。

SHOP ☺ ええサービス



お酒落なインテリアも手作り。

創業250年の蔵元の地酒で一杯。

地元産にこだわった酒や着に 住民の心意気を感じる店づくり

大溝城下はもともと山水や湧き水に恵まれ、多くの特産品を育ててきました。そんな地元の恵みを味わってもらおうと、味工房あふみでは、夜は「萩の露」の地酒(原酒310円〜)や「総本家喜多品老舗」の鮎寿し(1000円)などを提供。ぶらりと滞在してゆっくりと美味しい酒や着を味わうのもよいかも。毎日、「まちづくりは理屈でなく、汗を流すことから生まれる」と、交代で店に立つまちづくりの担い手たちとお酒を酌み交わすのも一興です。びれっじ構想は人と人、人と町をつなぎながら、周辺の城下町を案内する観光ボランティアや各商店のつながりを生み、地域住民にとっても憩いの場となっています。今後、住民主導のまちづくりのモデルとして点から線、面へとさらなるチャレンジを続けながら新たな文化と歴史を織り成していくことでしょう。



周辺は町歩きにぴったり、向かいには「萩の露」さん。



JR近江高島駅前に巨大ガリバー出現。

びれっじ2号館

- 滋賀県高島郡高島町勝野1320
- TEL&FAX.0740-36-0403
- 営業時間：10:00～23:00
22:30ラストオーダー

- 月曜休み
- 交通アクセス：JR近江高島駅から徒歩8分
- <http://www.ex.biwa.ne.jp/birejji2-a>



(左から)下田会長と副会長兼会計の廣坂さん。

運営団体：びれっじ2号館運営委員会

商工会青年部の有志15人(29歳～48歳)が参加。本業は茶碗屋・和菓子店・内装業・食料品店・袋加工所・理髪店・表具屋・金物店・製菓店・工務店など。7年間は月1万円を出資しまちづくりを続け、2000年にふるさとづくり奨励賞を受賞。商工会にタウン・マネジメント機関(※TMO)が設置され参画。「これまでの実績を活かして、民と官の協働による元気なまちづくりを目指したい」。

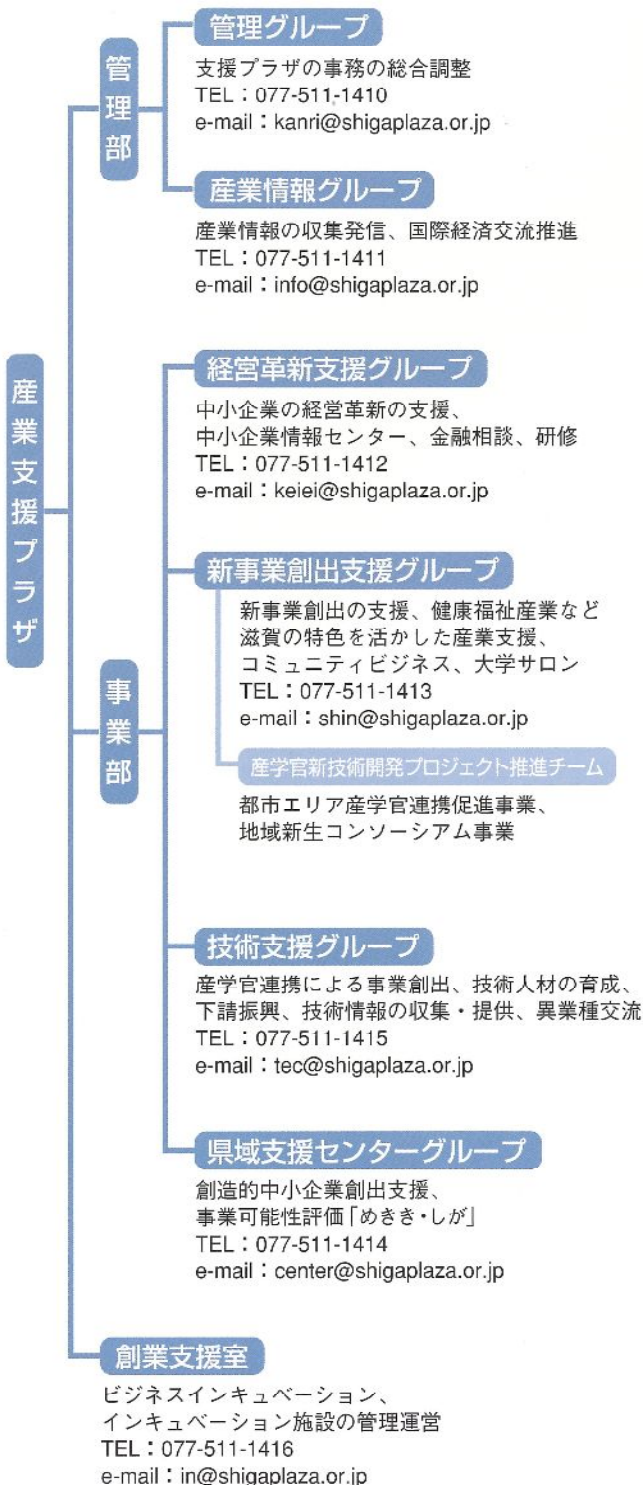


びれっじ2号館は平成11年文化庁登録有形文化財に指定

江戸時代後期醤油の醸造元だった福井家商家。切り妻造りの棧瓦葺の両端に立派な「本卯建」があがって、白漆喰壁や虫籠窓、格子の主屋など昔の佇まいがそのまま残っています。そもそも、「卯建(うだつ)」とは火事の類焼を防ぐための防火壁ですが、明治以降、家格や身分、富の象徴に。「うだつが上がらない」という慣用語もここから生まれたそうです。

※TMO(Town Management Organization)とは行政・事業者・市民・学識経験者などさまざまな立場で構成され、言わば「元気なまちづくり」の担い手です。

滋賀県の商工・労働福祉分野の団体が一堂に集まり「たくましい経済県づくり」のシンボルセンターとなる「コラボしが21」が完成し、9月1日(水)にオープンしました。その2階に当産業支援プラザが移転しましたので、新しい事務所を紹介します。



- 9階** 大津商工会議所、
滋賀県中小企業再生支援協議会、
大津地域中小企業支援センター
- 8階** 滋賀県信用保証協会
- 7階** 滋賀県信用保証協会
保証協会債権回収(株)滋賀営業所
- 6階** 滋賀県労働者福祉協議会、滋賀県勤労者住宅生活協同組合、
(財)滋賀県勤労者福祉協会、滋賀県勤労者互助会連合会、
労働福祉セミナー室、(社)びわこビジターズビューロー、
滋賀県社会保険労務士会
- 5階** (社)滋賀経済産業協会、滋賀経済同友会、
滋賀県商工会連合会、滋賀県商工会議所連合会、
滋賀県中小企業団体中央会、滋賀県火災共済協同組合
- 4階** 創業オフィス[13室]、創業準備オフィス[10ブース]、
滋賀銀行ニュービジネスサポート室、びわ銀ビジネスプラザ、
(株)時事通信社大津支局、(社)中小企業診断協会滋賀県支部
- 3階** 大会議室、中会議室、IT研修室、
ミーティングルーム
- 2階** **財団法人滋賀県産業支援プラザ事務室**
インフォメーションセンター、大学サロン
滋賀県立大学地域産学連携センターサテライトオフィス
- 1階** 情報資料コーナー、IT(情報技術)コーナー、
展示コーナー、交流サロン、CAFÉコルネット

お店紹介

CAFÉコルネット

コラボしが21の1階に開店したのがCAFÉコルネットです。当店のお勧めのメニューは、オムシチューと焼きそばです。ぜひ一度、お試しください。



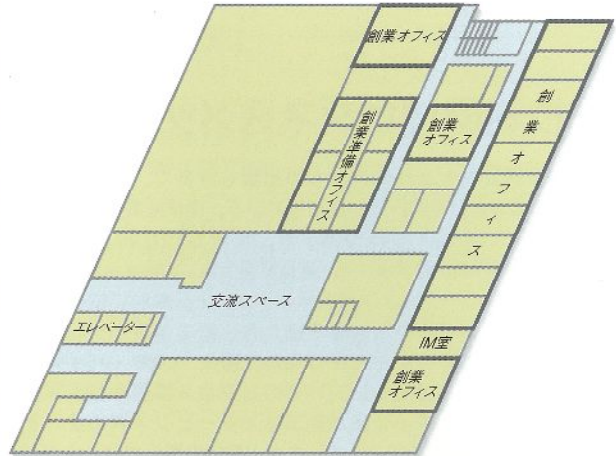
コラボしが21開館！

9月1日(水)、國松善次滋賀県知事を始めとする関係者によるテープカットで待望のコラボしが21がオープン。開館記念シンポジウムでは、経済評論家の堺屋太一さんが「これからの世界(日本)経済と地域経済」と題して記念講演。引き続き行われたパネルディスカッションでは、日本経済新聞編集委員の山形健介さんのコーディネートのもと、「経済の潮流と地域経済の振興」をテーマに早稲田大学院教授の川本裕子さん、オプテクス社長の小林徹さん、立命館大学教授の牧川方昭さんらが滋賀の地域経済振興について意見を述べました。約250名の参加者は熱心に耳を傾け、会場は熱気で溢れていました。



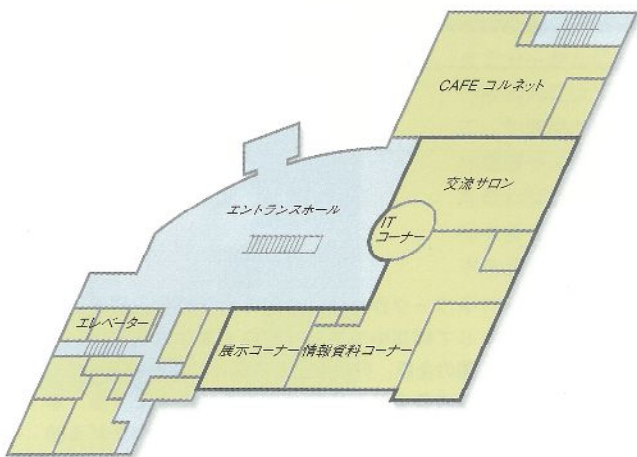
4F

創業を準備する方にご利用いただく「創業準備オフィス(利用期間6ヶ月)」(10ブース)と創業を予定する方にご利用いただく「創業オフィス(利用期間3年)」(13室)があります。入居者には、常駐のインキュベーションマネージャーがアドバイスや支援、指導を行います。



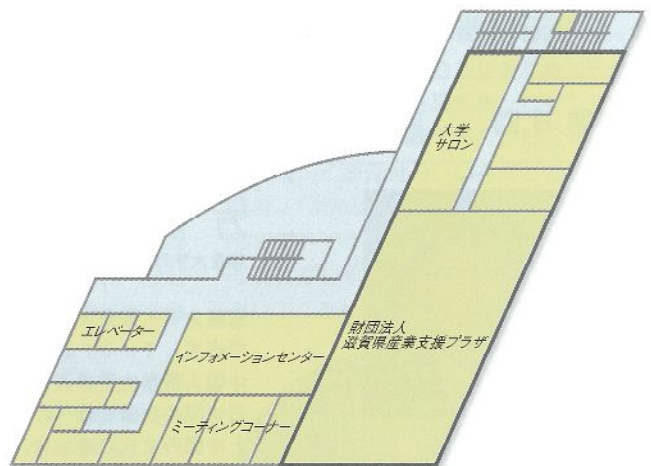
1F

産業やビジネス等に関連する情報が収集できるよう、「情報資料コーナー」には、書籍、雑誌、ビデオなどが並び、閲覧や貸出を行っています。また、「ITコーナー」では、インターネットに接続したパソコン8台を利用して産業情報の収集が出来ます(1時間以内)。「展示コーナー」には、県内企業の新商品・新技術等を展示しています。



2F

「滋賀県産業支援プラザ」の事務所です。中小企業者の皆様方の様々な相談に応じていますので、お気軽にご相談ください。総合案内窓口「インフォメーションセンター」では、館内案内を始め、3階会議室の予約等を行っています。「大学サロン」には、県内大学の産学連携に関する資料等を備えており、滋賀県立大学地域産学連携センターのサテライトオフィスも置かれています。



セミナー & イベント情報

びわ湖環境ビジネスメッセ2004

国内の企業はもとより海外からの出展も数多く、エコビジネスの商談の場としての評価が高まっている、環境産業見本市「びわ湖環境ビジネスメッセ2004」が、今年も10月20日(水)～22日(金)の3日間、長浜ドーム(滋賀県長浜市)で開催されます。今回のテーマゾーン(主催者展示)では、化石燃料に依存した現在の日本のエネルギー事情を踏まえ、新エネルギー、あるいは再生可能エネルギーと呼ばれる太陽光・水素・バイオマスなどへの転換・実用化に向けてのビジネス課題や技術課題を紹介し、中堅・中小企業が新エネルギービジネスに参入するために必要な展示を行います。また出展者の展示では、今回、過去最多となる253の企業や団体が出展します。

- 日時/2004年10月20日(水)～22日(金)
10:00～17:00(最終日16:00まで)
- 場所/滋賀県立長浜ドーム
- 問合せ先/滋賀環境ビジネスメッセ実行委員会事務局
社団法人滋賀経済産業協会
TEL:077-526-3575
滋賀県商工観光労働部新産業振興課
TEL:077-528-3793
- 詳しくは、滋賀環境ビジネスメッセ実行委員会のHPをご覧ください。<http://www.pref.shiga.jp/event/messe/>



びわ湖環境ビジネスメッセ2004
昨年は、226の企業・団体が出展し、開催期間3日間で来場者が3万7千名を超えた。

びわ湖環境ビジネスメッセ2004 同時開催セミナー(プラザ関連抜粋)

環境メッセの会期中、環境に関するセミナーやシンポジウムが開催されます。すべてのセミナーは無料ですが、事前申込が必要です。多数の申し込みをお待ちしております。

国際化セミナー&個別相談会

【ドイツ・バイエルン州の環境ビジネス】

- 日時/10月20日(水) 13:30～16:45
- 会場/長浜ドーム内セミナー室2
- 定員/50名
- 申込先/ジェトロ滋賀情報デスク(永峰) TEL:077-521-6638

光触媒シンポジウム

【世界を変える環境光触媒】

- 日時/10月21日(木) 13:00～16:20
- 会場/長浜ロイヤルホテル
- 定員/300名
- 申込先/(財)滋賀県産業支援プラザ 技術支援グループ(宮本)
TEL:077-558-1530

環境・リサイクルセミナー

【化学物質排出把握管理促進法対応講習会】

【化学物質審査規制法対応講習会】

- 日時/10月21日(木) 13:30～16:45
- 会場/長浜ドーム内セミナー室2
- 定員/60名
- 申込先/(財)滋賀県産業支援プラザ 経営革新支援グループ(山田)
TEL:077-511-1412

ゼロエミッションとコスト削減の両立

～ドイツにおけるマテリアルフローコスト会計～

- 日時/10月22日(金) 13:00～16:30
- 会場/文化産業交流会館 小劇場
- 定員/60名
- 申込先/滋賀県商工観光労働部国際課(藤村) TEL:077-528-3061

第8回 産学連携



ファン スウチュン
方 蘇春さん

聖泉大学教授/国際交流センター長

今、新技術開発や
ヒューマンネットワークの形成など
産学連携が注目されています。
このコーナーでは大学などの
産学連携に関する情報を
掲載します。

聖泉大学・聖泉大学短期大学部は文系の学科で構成している。産学連携については本学の中国人留学生受け入れ事業を活用していく。日中間の企業活動への貢献については、日本と中国の文化の違いや、中国語と日本語の橋渡しを中心に行いたい。担当は留学経験者の中国人教授陣、優秀な留学生、及び民間からの日本人教授が当たる。中国の企業とのネット

ワーク作りは、本国の大学時代人脈を生かして構築中であり、現在も夏休みを活用し中国の企業、行政担当者に向けて活動中である。県内各会社が独自で部署を持たなくても、本学を活用すれば経済活動の促進につながる組織を確立し、各方面から活用していただけるよう努力中である。その一端として、中国語講座を早急に開講するよう進めている。

【問】 聖泉大学教育事業部 企画グループ
〒521-1123 彦根市肥田町720 TEL.0749-43-7510 FAX.0749-43-5201
E-mail: oomura-h@seisen.ac.jp URL: <http://www.seisen.ac.jp>

光学プラスチック レンズに特化

当社は、プラスチックの持つ限り無い可能性を追求し、御客様に喜ばれるより良い製品の提供を通して社会に貢献したいと考えております。環境整備をモットーに温度・湿度を一定に管理し、オートストッカー等無人化対応システム導入によるフル稼働体制の中で、光学プラスチックレンズと精密エンジニアリングプラスチック部品を生産して

株式会社 カフィール
TEL : 0749-78-0270
E-mail : info@kafeal.com

います。また、全社挙げての「TPM活動」に取り組んでおり、品質の安定化に努めて居ります。



品質優先の部品加工

当社の特徴は試作品から量産品まで高精度な品質優先の部品加工です。加工内容はCNC旋盤・マシニングセンター・ワイヤー放電加工が主で、難形状・3次元形状など複雑な部品も得意としています。加工材質は樹脂からアルミ合金・チタン合金など幅広いものに対応しています。永年の経験・多様なNC切削技術、コスト・納期を重視した考

睦精機有限会社
TEL : 0749-22-3667
E-mail : mtmken@pop.biwako.ne.jp

えのもとお客様に心を込めたモノ造りを提供しています。



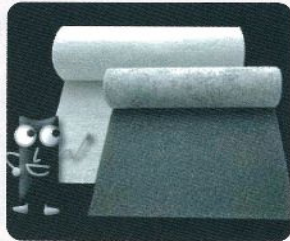
丸材・板材からの削り出し品

竹炭不織布シート 「CBシリーズ」

竹炭不織布シート「CBシリーズ」は、消臭・調湿・抗菌特性をもつ竹炭を独自の製法で不織布にコーティングした機能性シートです。環境や人に有害な物質を一切含まず、食品衛生法の基準をクリアしている衛生的で安全な製品となっています。掃除機、エアコン、空気清浄機など家電製品のフィルター材、自動車のキャビンフィルターや各種パーツ、壁材や畳下などの住宅資材、

株式会社 ファイナル
TEL : 0748-42-4943
E-mail : info@final-group.jp

ベッドパッドなど様々な用途で採用されている実績ある製品です。



脱臭・脱硫フィルター コルラインで臭気対策を

脱臭・脱硫フィルターコルラインは、樹脂製基材に脱臭脱硫剤を添着しハニカム状にした製品で、処理ガス中に含まれる悪臭物質を化学的・物理的に除去します。過酷な条件でも使用でき、温度110℃湿度98%まで使用可能です。現在の実績は企業（繊維・印刷・化学・食品等）の製造設備の排気処理対策、下水し尿処理場、ごみ処理場、生ごみ処理機・研究室等の脱臭と広く利用されています。

有限会社 フジタ商会
TEL : 0749-42-5055
E-mail : fujita-c@mtg.biglobe.ne.jp



SMILE



ゼロから造形物を作りあげる喜び

株式会社／犀工房
吉良 静子さん

〒520-2113 大津市上田上平野町337-3
TEL : 077-549-2610 FAX : 077-549-2620

大津市にある株式会社 犀工房(さいこうぼう)さんは、保育園や幼稚園にある遊具、駅前などに設置されている「からくり時計」などの企画、デザイン、設計から製作、施工までトータルに手がけておられます。会社の敷地内には人気キャラクターをモチーフにした遊具が数多く並べられています。自然環境や人体への影響を考え、竹や防腐剤を使わない木材「サイプレス」を使った製品を多く作っておられます。これからは材木を使ったテーブルやイス、ロッカーなどの分野にも進出していきたいと考えておられます。

この犀工房を支えておられる吉良さんにお話をお聞きしました。「ゼロから造形物を作りあげる喜びと、それがお客様に喜んでいただけることが魅力です。」と語る吉良さんは、バリバリと仕事をこなすカッコイイ女性という印象を受けました。子ども達に喜んでもらえて、肉体面でも精神面でも成長につ

ながるような遊具を作っていきたいそうです。普段は総務や経理など、会社を管理する業務を担当されているかたわら、製作の企画にも参加されており、多忙な日々を送っておられます。一年のうち年末年始以外は出勤していたという時期もあったそうです。しかしそれも仕事がデキルからこそ。従業員に優しく面倒見のいい吉良さんは信頼も抜群。「ああいう女性になりたい」という声もお聞きすることができました。頼りになる女性がいると、職場がいっそうイキキとしてくるものだと感じました。





わが社の ホームページ自慢

株式会社 大鋼製作所
<http://www.daiko-sus.co.jp/>

当社は燃焼機器用の排気筒と集塵機用ディフューザー及びリターナーを製造しております。既存の製造品の写真や図面また所有する機械を載せることで、より当社の事を理解していただきたいという気持ちと事業の多角化を図るためのひとつの手段としてホームページ開設を致しました。不特定多数の方に閲覧していただく事による新商品開拓や販売規模の拡張も考えております。ただ新商品や特売品の紹介等がなく更新にあたり変更する内容を見付けられない事が悩みですが、受注品やお問合をいただいた特殊な形状のものを製作し写真を掲載することで更新しております。

筒型型スパイラル型どんな形状のものも金属加工品のことでお困りの時は当社ホームページを是非ともご覧いただき、お気軽にお問い合わせ下さい。



株式会社 近江技研
<http://www.oumigiken.com>

草津市の南方、馬場町にて永年、金属部品の研磨加工をやっている小さな会社が、現状打破を目指し「自社のホームページ」を立ち上げて見ました。

ホームページの作成には、専門家のお世話になっており、閲覧される方にわかりやすくするため、詳しい技術の紹介や、加工例や設備を写真で紹介するなどの工夫をしています。問い合わせフォームも作成しており、簡単にお問い合わせできるようになっています。ぜひ一度覗いてみてください。

物を売る商売ではなく、当社のような技術を売る商売でのホームページの公開はその効果も疑問視されますが、これからの時代は自己PRも重要と認識しております。技術を売る商売こそ、ホームページで多くの人々にその技術力を伝えられると思っております。



企業のやる気を応援します！

財団法人滋賀県産業支援プラザ

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜2番1号(びわ湖ホール前)
TEL: 077-511-1411(産業情報グループ) FAX: 077-511-1418
URL: <http://www.shigaplaza.or.jp> e-mail: info@shigaplaza.or.jp

詳しい情報は、滋賀県企業情報検索市場 skki (すっき)をご覧ください。skkiには、この他にも多数の企業の情報が掲載されています。また、登録企業を募集しています。



編集後記

琵琶湖岸のコラボしが21へ移転して2か月が経ち、新たなスタートを切りました。開館記念シンポジウムに始まり、土日も含め多くのセミナーや講演会が開催されています。新事業創出や経営革新に役立つ産業情報の収集にぜひとも足をお運びください。